

'06.2

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工会連合会
発行人 会長 土谷正男
神戸市中央区花隈町6の19
☎神戸(371)1261(代)〒650-0013
<http://www.shokoren.or.jp/>
編集人 澤田 功
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 582 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



神鍋の味がまるごと味わえる特産品
シヨップ、レストラン、軽食コーナー
もあり、「ほんまものの駅」、「味覚の
駅」としても楽しめる。まさに心も体
も温めてくれる道の駅である。
観光案内所も有し、冬のスキー、ス
ノーボードをはじめ、一年を通じての
高原での観光、スポーツの交流拠点施
設として多くの人に利用されている。

道の駅「神鍋高原」は、四季型観光
地である豊岡市日高町神鍋高原の国道
四八二号沿いに位置している。
周囲を美しい自然に囲まれた当駅は、
蘇武トンネル経由の豊岡市の西の玄関
口でもあり、ドライブや神鍋高原観光
途中の立ち寄りスポットとなっている。
「温泉のある駅」として、温泉施設
(かななべ湯の森ゆとりぎ)も併設。
神鍋の味がまるごと味わえる特産品
シヨップ、レストラン、軽食コーナー

『神鍋高原』

兵庫
道
の
駅
シ
リ
ーズ

主な行事予定

3月のこよみ
6日月 第6回理事会
(県商工会館)
24日金 臨時総会神戸市・ホテ
ル北野プラザ六甲荘)

第3回理事会

諸規定等の一部改正などについて了承を得る



▲会長専決報告のほか、4議案を承認

県商工会連合会は、十二月二十日、県商工会館において本年度第三回理事会を開催し、次の通り承認された。

会長専決報告 商工会諸規程等の一部改正について

平成十七年度人事院勧告に基づく給料表の引下げ等について十二月一日付で会長専決で承認したことを報告した。

第一号議案 兵庫県商工会等人事交流規約の一部改正について

第二号議案 臨時総会（書面決議）の開催について

人事交流の内示時期を、従来の二月一日から三月一日に改正することを、一月十日に臨時総会（書面決議）を開催

して議決することになった。

第三号議案 商工会諸規程等の一部改正について

「育児・介護休業法」の改正を受けた「町村会準則」の改正に伴い、介護休業の取得回数の緩和、就学前の子供の病気・けがに対する看護休暇の創設等が承認された。

第四号議案 「商工会職員退職金共済運営委員会」委員の欠員補充について

古川前副委員長の後任に壺坂副委員長を選任した。

また、報告事項として「平成十七年度中間監査報告」、「平成十八年度商工会青年部全国大会（兵庫大会）の開催について」等の報告があった。

合併に伴う方向性を模索

県女連理事会

兵庫県商工会女性部連合会（行幸子会長）は、十二月八日、県商工会館において第3回理事会を開催し、次の議案について審議した。

第一号議案 第2回商工会女性部幹部講習会について

第二号議案 平成十八年度通常総会の開催について

第三号議案 商工会合併に伴う女性部の方向性について

協議の結果、いずれも原案どおり承認された。

なお、第三号議案の中で審議された平成十八年度役員の推移について、この度、淡路地区において商工会合併により理事二名が欠員となるが、役員定数については改選期に段階的に協議することし、会費については、早急に改訂（案）についての各商工

改正高年齢者雇用安定法

平成18年4月1日施行

「高年齢者雇用安定法」が改正され、平成18年4月1日から、現在65歳未満の定年の定めを設定している事業主は、次のいずれかの措置を講じなければなりません。

【高年齢者雇用確保措置の内容】

定年の引き上げ

継続雇用制度（再雇用・勤務延長）の導入

定年の定め廃止

から のいずれかの措置を各企業の実情に応じて導入してください。

なお、原則は希望者全員を対象とする制度の導入が必要ですが、の継続雇用制度の導入をする場合は、労使協定により継続雇用制度の対象者を限定してもよいことになっています。

【措置の年齢】

年金（定額部分）の支給開始年齢の引き上げにあわせ、段階的に引き上げられます。

平成18年4月1日からは、62歳
平成19年4月1日からは、63歳
平成22年4月1日からは、64歳
平成25年4月1日からは、65歳

●問合せは兵庫労働局、最寄りハローワークへ

組織体制のあり方を検討

県青連理事会

兵庫県商工会青年部連合会（仁部徹会長）は、十二月十六日、県商工会館において第四回理事会を開催し、次の議案について審議した。

会からの意見を集約し、平成十八年度第一回理事会で協議することとなった。

また、合併後の状況について支部中心型で運営する篠山市と本所中心型で運営する養父市からそれぞれ話をしてもらい、「合併してから初めてわかったことが多々ある」などの意見が数多く出た。

第一号議案 平成十八年度県青連組織体制について

第二号議案 平成十八年度県青連事業について

第三号議案 平成十八年度県青連会費について

第四号議案 商工会青年部全国大会（兵庫大会）について

第五号議案 商工会法施行四十周年記念式典について

第六号議案 モニタースタッフ募集協力事業について

なお、第四号議案については一月十二日の全青連正副会長会において兵庫県の意向を伝え、協議することとなった。

その他の議案については、原案のとおり全て承認された。

リサイクルを巡る 状況について研修する

容器包装リサイクル法研修会

県商工会連合会は十二月一日、神戸市・パレス神戸において「平成十七年度容器包装リサイクル法研修会」を開催した。出席者は県下各地から三十一名。

これは(財)日本容器包装リサイクル協会からの委託業務を円滑に行うことと、本年度より委託業務が一部変更となり、周知徹底し、リサイクルを巡る状況について認識を深めることが狙い。

研修会では、「容器包装リサイクルを巡る状況報告、法律の概要、具体的な委託業務概要」についてリサイクル協会の高取総務課長が説明を行い、「パソコン操作に関する研修」を同協



▲県下商工会から31名が出席

会の総務部・橋本氏が行った。

また、「環境問題とユニバーサル社会について」と題して、県ユニバーサル課の吉見主幹が説明を行った。

代位弁済案件 を審議

保証業務運営委員会

県商工連協同組合では、十二月二十日、平成十七年度第二回保証業務運営委員会を開催した。第一号議案「代位弁済について」では、三件、約五百七十七万円の代位弁済案件について審議を行なった。

審議の結果、全て承認されたものの、今回の案件では融資あつせん後までもなく不渡を出した案件も含まれていたため、委員会では、県連・商工会の審査体制が問われる事態との意見から、今後の再発を防ぐため、文書により審査委員会の適正な運営を徹底することとした。なお、平成十七年十二月末の保証基金残高は商工会の拠出金を含め、約二億九千万円。債務保証残高約十六億八千万円に対する充足

率は約十七・二%となる見込み。その他、会議所との統合に伴う商工会別保証基金の管理方法についても検討し、今後継続的に協議することとした。

税務知識等を学ぶ 記帳専門研修会

記帳専門研修会

県商工会連合会は、十二月九日、神戸市・パレス神戸において、商工会記帳専門研修会を開催。記帳専任職員ら五十三名が出席した。

当日は、まず、県連合会・村指導課長が、開会挨拶に引き続き「商工会を取り巻く環境の変化について」をテーマに講演した。その中で、行政合併に伴う商工会の現況や、人事評価制度導入への取組み等について説



▲記帳指導に必要な税務を受講

明。さらに、会員ニーズにこたえるためには、専門指導体制の構築が重要であるとした。

午後からは、「記帳指導に必要な会計・税務知識」と題して、蟬川税理士が講義。所得税では、設問形式による事例を学ぶなど、研修会は盛会裡に終了した。

給料表改正など を協議する

諸規程あり方委員会

県商工会連合会は、十二月十四日、県商工会館において第三回商工会諸規程のあり方検討委員会を開催した。

今回は、「平成十七年度人事院勧告による平成十八年度四月一日適用分の改正について」を協議。

具体的には、人事院勧告を参考に、八級制から六級制への給料表改正や級・号給の切替え表

- 中小企業と共に45年 -
商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号(県立産業会館内)

☎ 078-361-8080(代) Fax 078-371-6757

ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp

▼ 短 信

十二月十九日、商工会法施行四十五周年記念誌第二回編集委員会を開催し、全体の構成を確認すると共に、題字は「未来に向かって」と決定した。

の適用、また、級の統合による、

期末・勤勉加算の取り扱いなどについて合意を得た。ただし、級の切替えに伴う職階の名称や昇給制度における昇給時期、昇給停止年齢制度、地域手当の新設に関する事項などは、平成十八年四月の規程改正を目指し継続協議することになった。

今年の日本経済の 行方のポイント

我が国経済は、二〇〇五年度もプラス成長となる見込みで、四年連続してのプラス成長となる。その要因は、企業が三つの過剰（雇用・設備・債務）を克服して収益力を強化したこと、中国を初めとした海外向け輸出が好調で、加えて国内需要の持ち直しから企業収益は引き続き増収基調となっていること、企業が収益の改善を背景に、これまでの合理化・効率化投資に加えて能力増強投資などの前

向きな設備投資を増加させ始めていること、景気回復の流れが雇用情勢や所得情勢の改善におよび、消費者マインドが明るさを取り戻し、個人消費が持ち直していること、等々に支えられ息の長い景気回復が続いている。こうした動きを背景に株式市場では、昨年十二月初めには日経平均株価が、二〇〇一年十二月以来の一万五千円台乗せ（年末には一万六千円台）まで回復し状況を呈している。

こうした現状にあつて、今後

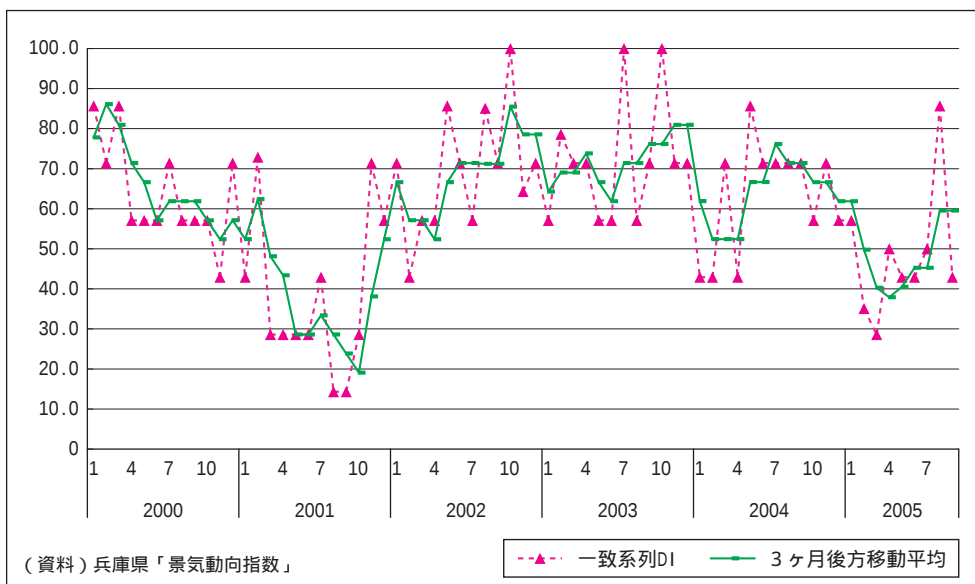
の景気動向を占うポイントは以下の三点であろう。

鉄鋼、商社など中国特需や一次産品価格の値上がりによる支えられたオールエコノミー主導でもたらされて来た回復が、他の分野・業種へどの様な広がりや波及効果を見せるのか。持ち直しを見せている個人消費であるが、原油価格の高騰、医療費・介護費用の負担増、定率減税の縮減・廃止を始めとした増税政策の行方等から必ずしも樂觀できる状況にはないこと、デフレから脱却してインフレへ移行する時期の日本銀行の政策判断の行方である。

工品、半導体検査機器等が好調である。また、この他、県下には米国の中国向け輸出で好調な上場企業が多い。これら大企業に

関連した中堅・中小企業は総じて企業業績が回復している。一方、これ以外の内需に依存している中小企業の業況は横ばいで推移するなど、景気の二重構造とでもいうべき状況になっている。このため、好調な業種を除けば、景気回復を実感できない企業が多いことも事実である。

図1 兵庫県のDI一致指数と同後方3ヶ月移動平均線



展望する

ひょうご経済研究所
主任研究員

水上 潤



兵庫県経済の現状

兵庫県の景気動向指数のうちDI一致指数とその三ヶ月移動平均線を見ると、二〇〇一年終り頃から上向き、五年九月まで概ね五〇％以上を維持している。ただし、四年下期から五年上期に入り、景気が踊り場を抜け出しつつあることが分かる（図1）。

業種別にみると鉄鋼、電気機

械、一般機械を中心に緩やかに回復している。鉄鋼は中国向け輸出が好調なことに加え、高級鋼の市況がよく、このところやや落ち着いたが好調を維持している（例・熱延鋼板で二〇〇二年十二月のトン当たり三三二円↓。四年十二月同八・千円↓。五年十二月同七五・千円）。電気機械はデジタル関連のディスク用成形機、液晶パネル用溶接加

工品、半導体検査機器等が好調である。また、この他、県下には米国の中国向け輸出で好調な上場企業が多い。これら大企業に

関連した中堅・中小企業は総じて企業業績が回復している。一方、これ以外の内需に依存している中小企業の業況は横ばいで推移するなど、景気の二重構造とでもいうべき状況になっている。このため、好調な業種を除けば、景気回復を実感できない企業が多いことも事実である。

2006年の経済を

財団法人

二〇〇六年の展望

二〇〇五年度の兵庫県の県民総生産伸び率は実質二・四%成長（推計）。〇六年度は個人消費が緩やかに回復すること、住宅投資が一服すること、設備投資が前年度より伸び率が鈍化することから、実質一・七%と伸び率が鈍化するものの緩やかな回復傾向をたどることが予想される（表1）。冒頭に述べた三つの条件をみると、オールドエコノミーから他の業種への広がりが出てくること、個人消費は雇用状況改善により前年度を上回る回復をたどること、物価はゼロ近辺で推移する。従ってGDPベースでみると、実質一・七%と名目一・九%とほとんど乖離がない状態となるものの、インフレには至らない。その理由にはBRICSの台頭から国際商品市況で依然として値上がりする品目があるが、中国・アジアの労働力の活用余力は大きく、中国・アジアからの輸入製品価格がすぐに上昇しにくいからである。ただし、人民元の再度の切り上げの可能性は残されている。以上を総合的に判断すると、

日本銀行の政策判断は、景気の流れに棹をささない経済実体在即した範囲に止まることとなる。また、懸念されていた米中の景気は、米国の住宅バブル、中国の景気過熱など予断を許さないものの、昨年十二月時点では米国の個人消費等が底堅く、中国も八・九%の成長が見込まれ急速な減速は避けられそうな見通しである。

このため、経済のファンダメンタルズは来年度に入ってもほとんど変わらない。素材産業、電気機器等の好調が続く、一部業種で原油高、原材料高の影響を受けるが、企業の財務内容がそう急激に悪化することは考えられない。

個人消費は、雇用環境の改善から緩やかな回復基調を続ける。設備投資も伸び率は低下するものの、企業のキャッシュフローの改善、能力増強投資等から引き続きプラスとなる。

兵庫県の産業構造は古い体質のままではなく、構造改革は着実に進んでいる。その理由の一つ目はデジタル関連の最終製品

を作る企業こそほとんどないが、関連の部品等を作る企業は多いこと。二つ目は国際分業体制の構築が着実に進み、国内では高付加価値製品を作り、その他はアジア等で製造するようになってきたこと。この結果、上

分野で付加価値の高い業種と雇用吸収型の業種を創造していくことである。

最後に二〇〇六年二月十六日の神戸空港開港を迎え、その利用度に注目が集まっている。モビリティ社会において、ビジネスチャンスを求めていかにスピーディに行き来できるかは非常に重要な要素となっている。

現在、好調企業のトップの行動は、地元・兵庫と東京、さらには海外へと駆け巡る実態にアクティブなものとなっている。

従って神戸空港は地元経済界の変貌ぶりを知る試金石となる。また、兵庫・神戸へ観光客を吸引する絶好の機会となることから、更なる仕掛けづくりが必要である。

今年は一〇〇七年問題（人口の本格的減少、年金、医療など）に対して布石を打つ大変重要な年でもある。本年がステップの年となり、明るい展望が開けることを期待してやまない。

表1 兵庫県経済の見通し（年度）

		(実績) 2003	(推計) 2004	(推計) 2005	(見通し) 2006
県内総支出	実質名目	1.3 ▲ 0.9	▲ 0.6 2.0	2.4 2.0	1.7 1.9
民間最終消費支出	実質名目	1.0 1.0	▲ 0.6 1.0	1.2 1.1	1.2 1.3
民間住宅投資	実質名目	▲ 4.5 ▲ 4.5	7.0 8.3	13.5 10.0	3.5 4.0
民間設備投資	実質名目	8.1 2.8	4.6 7.1	12.8 14.8	5.0 8.0

（資料）2003年度は実績、04、05、06年度は各種統計指標に基づき推計

を上げるが、多くの企業は現状維持が見込まれ、このことが個人消費本格回復への重石となる。

兵庫県の製造業のウエイトが高いことから次の課題は、工業分野でさらに付加価値の高い商品を作ることを加えてサービス

また、企業の設備投資は、大企業を中心として鉄鋼や輸送用機械などの幅広い業種で能力増強や省力投資に取組んでおりプラス基調を維持している。

住宅投資は市街地中心に大型マンションの建設等が進んでいるが、このところやや一服感が出てきている。公共投資は基調として減少傾向にある。

雇用情勢は有効求人倍率が上昇する（〇四年九月の〇・七〇・五年九月の〇・八三）など明るさが出てきており、足元は悪いものの倒産件数、金額も落ち着きつつあるなど景気の底堅さを示している。

三 商工会だより 三

先進事例を視察

北摂丹波ものづくり企業連絡会



三田市・篠山市



▲ものづくりの哲学を語る鬼塚会長

北摂丹波ものづくり企業連絡会では、十二月七日（水）、卓越した経営者や技術者の先進事例を学ぶため、神戸市西区の株式会社アシックススポーツ工学研究所を視察した。

同連絡会は、三田市商工会（日下隆三会長）、篠山市商工会（山内文男会長）に所属する製造業会員及び丹波市工業会によって組織し、「強いものづくり」の基盤となる広域的産業ネットワーク作りを目的としている。

視察先の株式会社アシックススポーツ工学研究所は、民間企業初、国内最大規模のスポーツ

工学研究所で、バイオニクスの立場からスポーツの研究を行っている。

同社創業者である鬼塚喜八郎会長からは、戦後の荒廃から子供たちを健全に育てようと始めた、スポーツシューズ作りを世界有数のスポーツメーカーにまで育て上げた「ものづくりの哲学」について熱い想いのこもった講演があった。

また視察では、「勝つためのシューズとは何か」を最先端化学によって分析し、世界の頂点で戦うトップアスリートのためのシューズ製作現場を見学。実際に足を計測しての動作分析、

3次元足型計測では参加者から思わず歓声が上がった。

今後、同連絡会において緊密な相互の協力体制を確認し、和やかな中にも有意義な全日程を無事終了した。

なんでも相談ウィーク

中町

中町商工会（大西健一会長）は、去る十二月、多可町役場産業振興課の協力を得て、加美町八千代町商工会と共催して、各分野の専門家を招き「なんでも相談ウィーク」を実施。多可町内の多くの事業者からの専門相談に応じた。

同商工会では、昨年度まで「一日なんでも相談所」を設置し、専門家による相談を集合的に行っていたが、今回は期間を延長し、対象も多可町内に広げて実施した。

なお、詳細は次のとおり。

十二月一日（木）…金融相談日
国民生活金融公庫明石支店融資課担当職員による、年末の事業資金や新たな設備資金の相談、教育資金の申込受付。

十二月二日（金）…労務相談日
社会保険労務士による、就業規則作成や見直し、継続雇用定

着促進助成金等の申請、社会保険や年金等の相談。

十二月六日（火）…税務相談日
（消費税円滑化対策事業として実施）

税理士による、改正消費税や各種税務申告、記帳相談。

十二月七日（水）…法律相談日
弁護士及び県商工会連合会前田チーフアドバイザーによる、不動産登記、相続、多重債務、会社設立等の相談。

特に労務相談では、継続雇用定着促進助成金の支給対象に八事業所が該当するなど、相談者からは「有益で納得がいく相談ができた。」と好評であり、来年度も同事業を実施する予定である。

多数の住民が参加 地区対抗親睦ゴルフ大会

吉川町

吉川町商工会（伊藤明会長）は、十一月八日（火）、平成十七年十月二十四日に三木市と行政合併した吉川町における最初の商工会地域振興事業として「吉川町地区対抗親睦ゴルフ大会」を三木市の太平洋クラブ六甲コースにおいて開催した。

このゴルフ大会は、吉川町に在住する住民を対象にしており、



▲多数の参加者の前で挨拶をする加古市長

参加者は町内二十三地区、総勢百二十三名の大舞台となった。

多人数のため、大会は朝早くから日没までの長時間に亘ったが、参加者は思い思いにプレーを楽しんでいた。

プレー終了後の懇親会には、ほぼ全員が引き続き参加、加古三木市長も駆けつけ会場を大いに盛り上げると共に、入賞者には三木市長杯を手渡した。また、新しい市制を全員で祝福し相互の交流を深めた。

地域住民にも慕われ今回で第六回目となるこの大会を、今後第七回、第八回と続けると伊藤会長が閉会の挨拶を述べ大会は盛会裡に終了した。



▲地元小学生とツリーを制作

但東町商工会青年部（加藤敏明部長）は、十二月十日（土）、「ペットボトルツリー点灯式とクリスマスコンサート」を開催し、冬の夜空に高さ七メートルのペットボトルツリー一体と、青年部員が講師となり、地元の小学生と共に制作した高さ二



▲光り輝くペットボトルツリーに見入る人々

メートルのペットボトルツリー五体を設置。クリスマスムードを盛り上げた。このイベントは、「魅力ある町づくり事業」の一環で、春の「チューリップまつり」、秋の「いもどりフェスタ」に続くイベントになればと同青年部が企画。七月から各家庭で不用になったペットボトルの回収を住民に呼びかけ、リサイクル意識の向上を図ることを目標に約五千本のペットボトルを回収し、ツリーを制作した。

ツリーは二つのペットボトルを円すい形につなぎ合わせ、内部の照明で全体が輝くようになっていて、カントリーバンドによるコンサートと点灯式では、多くの親

子連れで賑わい、カウントダウンでツリーが一斉に光を放つと「わあ」「きれい」と大きな歓声が上がり多くの人が見入っていた。



▲今日ばかりは思いっきり道路に落書き

生野町商工会青年部（井上亮部長）が、周辺地区青年会メンバーと結成した「生野もりあげ隊」は、十一月二十七日（日）、第一回かいわ祭りを開催した。この祭りは、生野銀山閉山時に、まだ子供だった同隊メン

懐かしいあの頃へ 第一回かいわ祭り

生野町青年部

また当日は、女性部による豚汁の無料サービスや、特産品研究開発事業において青年部が調



▲こたつ座談会で語り合う

バーが当時の学校帰りに楽しんだ「みちくさ」の気分を通りに復活させようと実施したもの。当日、歩行者天国となった駅前通りでは、生野もりあげ隊メンバーや周辺住民によって、路上や空き店舗を利用し駄菓子や食べ物が発売されたり、路上パフォーマンスが行われ大いに賑わった。会場内の紙芝居やけん玉、道路にチョークで落書きで

査研究し地元素材を利用した「但東ちまき」の試食会も行い好評を得た。なお、ツリーの設置期間は、十二月十日（土）から一月三十一日（火）まで。点灯時間は、午後五時から十二時までとなっている。

また、路上に置かれたこたつでは、訪れた人たちがのんびりくつろいだり、生野にまつわる小説を執筆した作家を囲んでのこたつ座談会が開催され、参加者は生野の歴史について語り合った。こうした各種の催しを通じ、来場者にはただ懐かしさだけでなく、人とのふれあいの温かさや大切さを感じてもらおう事ができ、皆が「僕たちのあの頃」にGET BACKした。

きるコーナーは特に子供たちの人気を集め、家族連れの笑い声が響いていた。

わたしたちジブラルタ生命が、
サポートいたします。

商工貯蓄共済制度



このイベントは、宍粟市発足に伴い、新市内の商業者が一丸となった共同取り組みを進め、市民の地域間交流を促すとともに、間近に迫った商工会合併の気運を醸成する事を目的とするものであった。



十二月十日(土)の千種町会場で魔法戦隊マジレンジャーショーを催し、宍粟市内はもとより近隣市町から多くの親子連れで、会場は大変な賑わいになった。

十二月十一日(日)の波賀町

宍粟市内の四町商工会(山崎町・一宮町・波賀町・千種町)はこのたび、「宍粟市」の誕生を記念して十二月十日(土)、十一日(日)、十七日(土)にリレーイベント「ふくふくまつり」を開催した。また、この期間に併せて、例年各町にて開催している歳末大売り出しを宍粟市全体の事業とし、大規模な歳末お客様還元セールも行った。



▲千種会場のもちまき風景(於:千種南小体育館)



▲大きなマグロに食い入る子供達

会場では民族歌舞団「花こま」による催し物と商工会女性部による甘酒の接待、また一宮町会場では和太鼓と有名演歌歌手による歌謡ショーとピンゴ大会を行い、両会場とも家族連れで賑わい、演劇に感心したり、歌声に聞き入ったり、ピンゴ大会では手元のカードと司会者による番号とを見比べて一喜一憂した。

十二月十七日(土)の山崎町会場ではマグロの解体ショーや豚汁の振る舞い、また大声コン



宍粟市商業者の共同歳末大売り出しも百六十一店舗が参加して、宍粟市商業者の活性化を促すとともに、特賞(国内有名観光地ペア招待)をはじめ、多くの景品をゲットしたお客様に大変好評であった。

テスト等やゲーム大会で、寒空の商店街に多くの地域住民が訪れた。

そして共通イベントとして、各地域のイベント会場を訪れ、四商工会のスタンプを集めると、抽選で四町特産品セットが当たるスタンプリーを実施し、用意していた十個の豪華景品が全て当たり、当初の目的である、住民の地域間の交流にもつながった。

FJB
株式会社 富士通ビジネスシステム

神戸支社
〒650-0027 神戸市中央区中町通2-1-18
(日本生命神戸駅前ビル)
TEL(078)371-0831

三菱UFJ信託銀行の住宅ローン
対象:平成18年3月31日(金)までにお借り入れ・お借り換えの方

夢の金利キャンペーン
固定金利 3年型
キャンペーン金利
団体信用生命保険付!

今月もこの金利!!
0.78%
年